

令和3年度「大分県女性のチャレンジ賞」受賞者紹介

受賞者	所在地／ 設立（活動 開始）	活動内容
【個人】 江田 梢 （株式会社 NICObit 代表取締役）	大分市 平成28年	<ul style="list-style-type: none"> ●全国的にも珍しい「女性チームでの遺品整理・特殊清掃の専門企業」として平成28年1月に創業。現在は10名体制にまで拡充している。「女性だけで出来る仕事なのか」を聞かれることは非常に多いが、知恵と工夫、チームワークで解決し、女性に依頼したいお客様のニーズに応えている。 ●令和2年2月に新型コロナウイルス感染症の集団感染が起きたダイヤモンドプリンセス号での消毒作業、同年8月武道館での戦没者追悼式典での予防消毒作業に従事。その経験から、県が実施する新型コロナウイルス感染症の軽症者等宿泊療養施設の退所時の客室清掃業務を令和2年12月から受託。第5波では大分市内の6棟814室の退所時の清掃を一手に担い、療養体制の確保に大きく貢献した。 ●「誰かがやらなくてはならないなら、まず自分たちが動く」をモットーに、希少な分野でチャレンジし、業績を伸ばしている。
【個人】 片岡 正子 （有限会社 オレンジ農園 代表）	杵築市 平成16年	<ul style="list-style-type: none"> ●平成13年に大阪から杵築市に移住。平成16年に自身が代表を務める(有)オレンジ農園を設立、大分県女性農業経営士養成講座等で学び、平成29年に食品製造業を開始。かぼすやみかん等の柑橘を使用した飲むタイプのゼリーの製造販売を行い、販路を広げている。 ●令和元年に6次産業化、地産地消法に基づく事業計画の認定を受けた。人気商品のひとつ「かぼすジンジャーハニー」は杵築ブランド認定品として認定されている。 ●「農家のもったいないを解消」を経営理念とし、地域の規格外農産物を買取り、商品化や製造受託を進めている。
【個人】 谷川 真奈美 （特定非営利 活動法人 地域ひとネット 代表理事）	大分市 平成12年	<ul style="list-style-type: none"> ●平成12年4月に任意団体として、人数制限なくコミュニケーションを取ることができるようデザインされたプログラム「ふれあい囲碁®」を用いた活動を開始。地域や学校、福祉施設など幅広い現場で活動している。 ●平成20年から中間支援事業を開始、NPO団体の運営・活動支援を行うとともに、協働コーディネーター等を行っている。令和2年7月豪雨災害では県内NPOと協働し幅広いネットワークを活かしクラウドファンディングで募った資金で被災者のニーズに合った支援品を購入、スピード感をもって届けた。（「おおいた・おカワリプロジェクト」令和2年から災害時の後方支援の仕組み「おおいた・いとでんわプロジェクト」を立ち上げ活動中。 ●大分県「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会委員等に就任し積極的な提言を行っている。

令和3年度「大分県女性のチャレンジ賞」受賞者紹介

受賞者	所在地／ 設立（活動 開始）	活動内容
【団体】 きつき小町会	杵築市 平成30年	<ul style="list-style-type: none"> ●平成30年2月に「きつき小町会」を女性経営者4名で設立。利益追求ではなく、「杵築に暮らす人を元気にしたい」という想いで、市内の特産品やグルメのPR、マルシェやイベントへの出店等、古里杵築を盛り上げる企画を継続して実行している。 ●コロナ禍で家事の負担が大きくなった母親を支援しようと飲食店のテイクアウト販売イベント等を企画。販売の機会を失っていた杵築市内の小売店や飲食店の売上にも大きく貢献した。 ●市からの補助金を活用し、城下町のメイン通りにチャレンジショップを運営、遠出をせず地元で楽しめる市内周遊イベントを企画・実行。地域密着型の取組は、杵築市民だけでなく、市外からも多くの人を動かした。
【団体】 山国町地域婦人団体連合会 里カフェ	中津市 令和元年	<ul style="list-style-type: none"> ●令和元年10月に有志14名で、町民の寄り合える場所(コミュニティカフェ)としての役割を担う、「里カフェ」を開店。化学調味料・冷凍食品・インスタント食品は一切使用せず、食べる人の健康やおいしさを追求したメニューを安価で提供している。 ●令和2年に高齢者向け弁当宅配サービスを開始。ひとり暮らしの高齢者の見守りや、安心にも一役買っている。また、コロナ禍で小学校が休校となったことをきっかけに、児童館を利用する児童向けに弁当の販売を開始。地域の働く子育て世帯の負担軽減にも貢献した。 ●新たに観光ツアー客向けの田舎料理・郷土料理を使った弁当の注文を受けるなど、さらなる挑戦を続けている。